

2011

環境問題への
取り組みを通して
持続的な発展を
目指します



NITTO KOHKI CO.,LTD.

Environmental Report

編集にあたって

発行目的と編集方針

昨年に続き2年目の2011年環境報告書の発行となりました。環境への日東工器の取り組みと現状を、株主やお取引先をはじめとするステークホルダーの皆様にご理解いただけるような編集に重点をおきました。環境負荷についての指標を中心に、正確で透明性の高い情報開示をモットーに編集を進めました。

対象期間

2010年4月～2011年3月

対象範囲

原則として、日東工器株式会社本社としています。また参考として、グループ企業の栃木日東工器、白河日東工器、メドテックおよび海外グループ会社の環境負荷の状況報告を含んでいます。

発行時期

- 発行日：2011年6月7日
- 次回発行：2012年6月

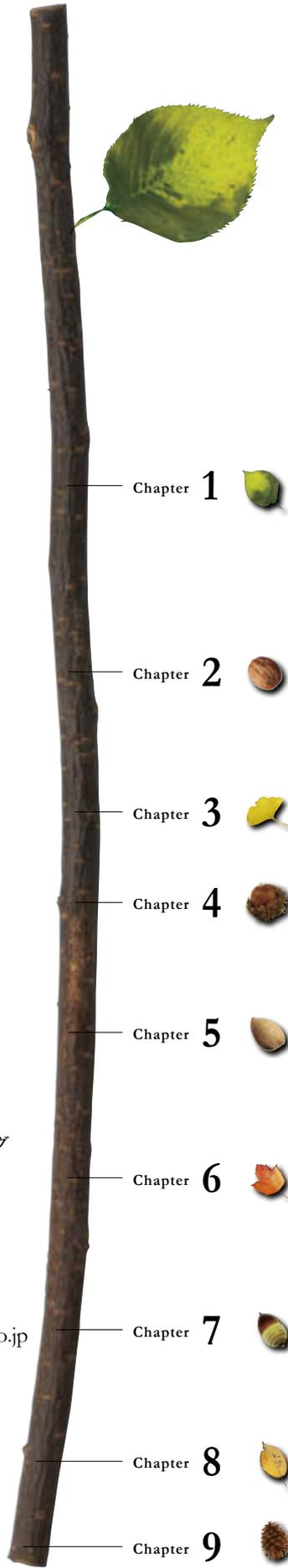
ガイドライン(参考)

- 環境省「環境報告ガイドライン(2007年版)」
- GRI「サステナビリティレポートガイドライン(G3)」

お問い合わせ先

日東工器株式会社 コンプライアンス室

- TEL：03-3755-1111(代)
- FAX：03-5700-7192
- URL：<http://www.nitto-kohki.co.jp>



Contents

編集にあたって	1
ごあいさつ	2
事業分野	3
財務報告	5
内部統制・コーポレートガバナンス	6
●緊急対策本部を設置	
●内部統制の整備および運用状況	
●コンプライアンス	
●リスクマネジメント	
環境マネジメント・ISO14001認証	7
●環境マネジメント体制	
●環境マネジメントシステムの構築・運用状況	
●ISO14001認証取得状況	
●環境教育の実施	
●タイ国NKTとNKCTからJAMP AISセミナー参加	
●環境に関する規制の遵守状況	
●グリーン調達説明会を実施	
環境への影響について	9
地球温暖化対策と実績	11
●地球温暖化防止に向けた目標	
●エネルギー起源CO ₂ の削減	
●改正省エネ法への対応	
廃棄物の削減	12
●廃棄物削減の方針および状況	
●リサイクル・回収の取り組み	
●コピー用紙使用量の削減	
生産部門の取り組み	13
●白河日東工器株式会社	
●栃木日東工器株式会社	
●株式会社メドテック	
●海外グループ会社	
日東工器本社・オフィス部門の取り組み	15
●自然採光を利用	
●本社の樹木の生育	
●植栽を施した接導部にごみ集積場および隅切りを設置	
●雨水をトイレの洗浄に使用	
製品開発	16
●環境配慮設計	
●環境配慮製品の提案	
地域とともに	17

免責事項：この報告書には、日東工器の過去と現在の事実だけでなく将来についての計画、予想および見通しの記述が含まれています。

これらの記述は、現時点で入手した情報に基づく仮定ないし判断であり、諸条件の変化によって将来の事業活動の結果や事象が予測とは異なる可能性があります。

ごあいさつ

環境問題への 取り組みを通して永続的な 発展を目指します。



日東工器株式会社 代表取締役社長

小武尚之

このたびの東日本大震災により被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げます。皆様の安全と一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

日東工器は、信頼性が高く誠実な技術を基に、時代のニーズに応じた独創的な製品とサービスの提供を通じて社会に貢献することを経営の基本方針としております。

そして、高い機能と品質を有し、環境に配慮した各種製品(迅速流体継手、油圧・空圧・電動の各種機械・工具、リニア駆動フリーピストン式のコンプレッサ/真空ポンプ、ドアクローザ)を世界市場に送り出し、お客様の高い評価をいただいております。

日東工器では、そうしたモノづくりと並行して、機械工具業界において早い段階から環境保全活動を積極的に推進してきました。この活動は国内外の生産子会社、販売部門も一体となって取り組んでおります。

環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」認証取得は、生産子会社の栃木日東工器株式会社を始め順次、本社・研究所、国内外生産子会社へとその認証範囲を広げております。

2010年度は、地球温暖化防止、資源の有効利用、環境配慮設計 (DfE:Design for Environment)の推進、グリーン調達推進、生産子会社のISO14001の認証取得など、積極的な活動を展開してまいりました。

その結果、グリーン調達の推進では、弊社独自の「グリーン調達ガイドライン」の改訂とそれに伴う協力会社への説明会を実施しました。また、日東工器グリーン調達システムNKGPSの構築による製品含有物質管理体制の強化を図ることができました。ISO14001の認証取得では、新たに白河日東工器が認証取得し、日東工器グループ全体の環境への取り組み意識を高めることができました。

今回の報告書は、2010年度の日東工器グループの環境保全活動をできる限り詳細にご報告したいと考え、取りまとめたものです。ご高覧いただき、日東工器グループの環境への取り組み姿勢にご理解を賜ると同時に、忌憚のないご意見やご提案をいただければ幸いです。



① 迅速流体継手 (カプラ)

迅速流体継手「カプラ」は、空気・ガス・水・油などさまざまな流体の配管を素早く、確実に接続・切り離しできる製品です。工場内の各種配管、油空圧機器、半導体製造装置、燃料電池（車両の水素ガス充填用〈写真左〉）など産業用から家庭用まで、25,000種類にもおよぶ製品群がさまざまな分野で使用されています。名実ともに世界トップクラスのシェアを誇るカプラですが、さらに環境保全に貢献できる製品（SCALカプラ〈セミコン用途〉〈写真右〉）の開発にも積極的に取り組んでいます。

事業分野

日東工器は「開発は企業の保険なり」を社是に、独創的な技術による事業活動を展開してきました。モノづくりを追求するメーカーとして「時代のニーズに応じた製品開発」、「信頼が高く、誠実な技術」を基本とし、半世紀以上にわたって事業を営んでいます。その事業は ① 25,000種におよぶ迅速流体継手「カプラ」 ② 鋼材穴あけ加工機「アトラ」や溶接のスパッタ取り工具「ジェットタガネ」などの機械工具、電動ドライバ「デルボ」 ③ リニア駆動ポンプ・その他のポンプとその応用製品 ④ ドアクローザの建築機器他、の4分野で構成されており、その卓越した性能・品質によりいずれも高い顧客満足度を得ています。社是にある「開発」とは技術・製品だけでなく、マーケティング（営業）、人材育成などのイノベーション（創造的な変革）を意味しています。日東工器は、開発の深耕を軸とした経営によって、今後とも一層の成長・発展を目指してまいります。



Couplings

Pumps

主要



③ リニア駆動ポンプとその応用製品

リニア駆動ポンプは小型で軽量、作動音や振動が少なく、低消費電力、長寿命などが特長で、日東工器が初めて実用化した製品です。オイルレスのためクリーンな空気源が求められる医療機器、浄化槽などで活躍しています。他にも、圧電素子で駆動する「ユニモルポンプ」、電磁ダイヤフラムや手のひらサイズのDC駆動（DC液体ポンプDPE-400BL〈写真左〉）など、各種ポンプ・コンプレッサをラインアップしています。その用途は、医療・福祉・健康機器（モミー MM-1200〈写真右〉）・環境関連機器など、さまざまな分野へと拡大しています。

② 省力化機械工具

機械工具は、鋼材の穴あけ、研磨、剥離など各種金属の加工用製品と組立工場などのねじ締め作業に使用されている電動ドライバを扱っています。空気式グラインダのMLG-40（写真左）は、小型・軽量化、ギヤヘッド部の低頭化、ギアおよびエアモータの長寿命化、新設計の消音機による作業音の低減、前方排気構造を採用して、作業者に優しく、環境に配慮した製品となっています。また、電動ドライバのデルボ低電圧DLV30シリーズ（写真右）は、ソフトスタート・速度可変機能による作業性の向上、高速回転・高出力のブラシレスモータによる作業の効率化、長寿命化、カーボンが発生しない環境に配慮した製品となっています。



Machines & Tools

作業の省人化・
省力化を軸に
産業の未来を
創造します。

Door Closers



④ 建築機器（ドアクローザ）

ドアクローザ「オートヒンジ」は電力等の動力源を必要とせず、ドアを支え静かに・安全に・自動的に閉める環境に配慮した商品です。NKOS-Mシリーズ（写真左）は、ダブルシャフト構造とワンタッチ機能により安全・安心・簡単操作でドアを支えます。引き戸クローザは、病院、福祉施設などでの需要が拡大してきており、さまざまな引き戸に対応する豊富な品揃えをしています。軽量引き戸に最適なCVシリーズ引き戸クローザ（写真右）は、コンパクトな納まりと使用者に優しい設計となっています。コンプライアンスの見地からドア周辺機器の重要性が高まっており、用途に合わせた製品の開発を進めています。

会社概要

- 商号：日東工器株式会社
 - 設立年月日：1956年10月22日
 - 本社所在地：東京都大田区仲池上二丁目9番4号
 - 資本金：18億5032万円（東証一部上場・機械業）
 - 従業員数：単体 400人（連結 968人）
 - 国内グループ会社：4社
栃木日東工器株式会社、
白河日東工器株式会社、
株式会社メドテック、
メド産業株式会社
 - 海外グループ10社
アメリカ、イギリス、ドイツ、
タイ、オーストラリア、韓国
- （2011年3月31日現在）

社是

開発は企業の保険なり

社是にある「開発」には
4つの意味が含まれています。

- ① 社会に貢献する製品開発
- ② 販売市場の開発
- ③ 人材開発
- ④ 組織管理体制の開発

これらの開発に全力を尽すことが、会社の経営体質を強化し会社の持続的発展を保障する、すなわち「保険」であるということです。

社訓

- 創意を発揚し技術を蓄積しよう
- 鋭気を涵養し活力を蓄積しよう
- 誠意を尽くし信用を蓄積しよう

職場は社員の人格形成の場であり、すばらしい人生を送ってほしいという願いを込めた社訓で、社員の行動規範を示しています。「技術」とは職務上の技術と能力のことで、「活力」とはファイト盛んな心身の活動力です。また「信用」とは世間の信頼を得る力です。これら「技術」「活力」「信用」のバランスを保ちながら蓄積していくことで、社員が人間的に成長し、ひいては会社の発展につながります。

財務報告

常に健全な財務体質を維持し、
堅実に前進し続けます。

日東工器は、製品開発で独自の強みを追求する一方、経営では堅実さを第一としてきました。世界経済は穏やかな回復を続けてきましたが、東日本大震災により直近の日本経済は大きく落ち込み、当社を取り巻く事業環境は先行き不透明感が強まっています。このような景況下で、当社は経費削減やコストダウンを継続的に進め、健全な経営体質の維持と、利益確保に努めています。

経営指標

(連結決算指標)

売上高 (連結)



単位：百万円

(年度)

売上構成比

2010年度実績 (2011年3月期)

迅速流体継手

39.3%

機械工具

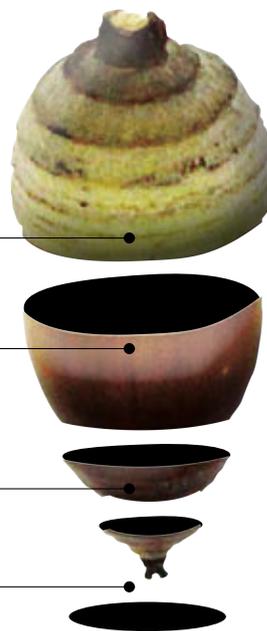
36.0%

リニア駆動ポンプ

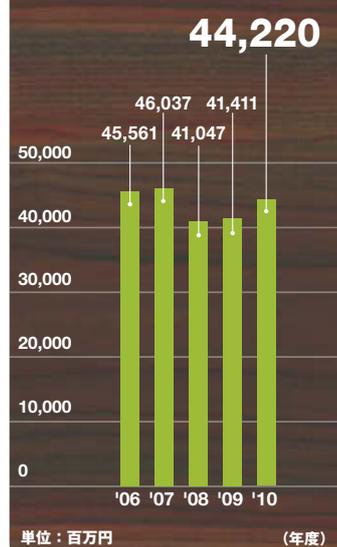
16.4%

建築機器

8.3%



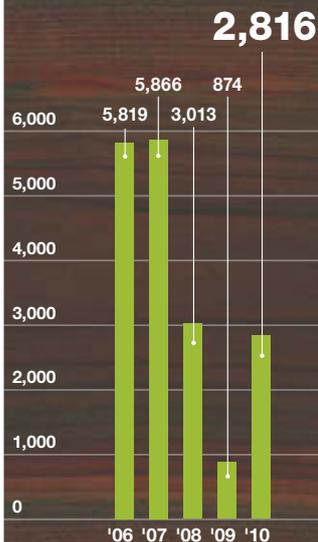
総資産 (連結)



単位：百万円

(年度)

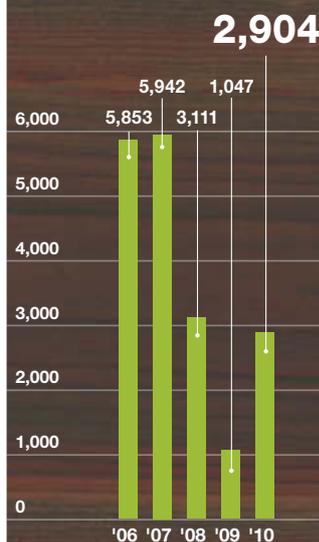
営業利益 (連結)



単位：百万円

(年度)

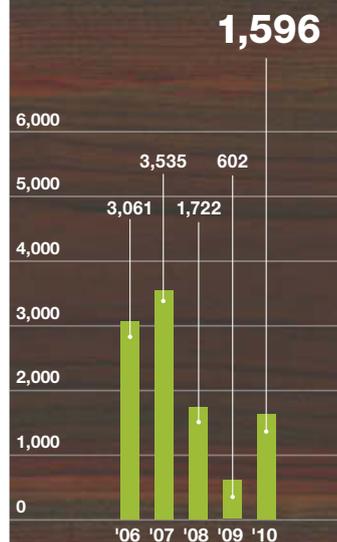
経常利益 (連結)



単位：百万円

(年度)

当期純利益 (連結)



単位：百万円

(年度)



環境方針に則り、 経営の一環として環境保全に 取り組みます。

日東工器は、環境保全を企業として当然果たすべき社会的責任と認識し、重要な経営課題として位置づけています。以下のような形で「環境方針」を制定し、環境マネジメント体制を確立して、すべての業務の中で環境負荷軽減に努めています。

環境方針

理念

日東工器株式会社は、産業界の省力化と作業環境の改善を不変のテーマとし、独創技術による高品質・高機能・高信頼性の製品づくりに邁進して来ました。製品を通じての地球環境への取り組みばかりでなく、事業活動を通じて地球環境への負荷軽減が当社の果たすべき重要課題であると認識し、全ての面で社会的責任を果たします。

基本方針

1

日東工器株式会社は、迅速流体継手「カプラ」、機械工具（空圧機器/油圧機器/電動機器）、空気圧縮機・ポンプおよびそれらの応用製品、建築機器（ドアクローザ）などを提供する事業を通じ、製品設計から販売までの全ての業務において環境保全に努めます。

2

環境配慮の製品設計、グリーン調達・購入、省資源・省エネルギー、リサイクルの促進、廃棄物の削減などに取り組み、環境汚染の予防に努めます。

3

環境関連の法規制、および当社が合意した協定事項を遵守します。

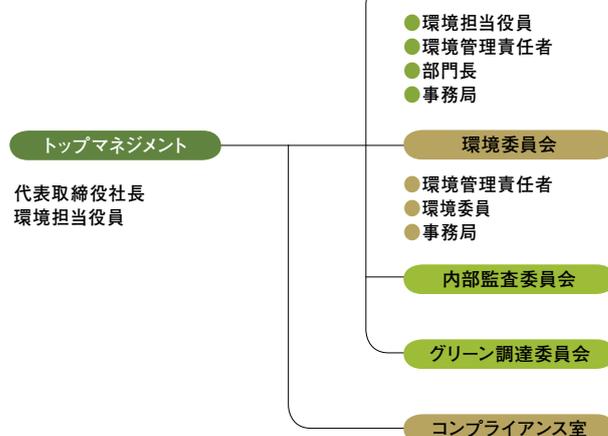
4

環境目的・目標を設定し、運用し、定期的に内部監査・マネジメントレビューを行い、環境マネジメントシステムを継続的に改善します。

5

この方針は文書化し、全従業員に周知徹底すると共に、社外からの求めに応じて公開します。

環境マネジメント体制



環境マネジメント体制

環境マネジメントを推進する体制として、EMS(Environmental Management System)部門長会、環境委員会、内部監査委員会、グリーン調達委員会を設置し、コンプライアンス室を事務局としています。

環境マネジメントシステムの構築・運用状況

ISO14001環境マネジメントシステムに準拠した「環境マニュアル」に基づき環境マネジメントシステムを構築・運用しています。運用に当たっては、次のように実施しています。

①EMS部門長会議の開催

定例EMS部門長会議を3月初旬に開催し、来期のEMS組織と役割、定期審査日程と来期に向けての日程、今期の内部環境監査結果の伝達などを行います。

②環境委員会の開催

毎月各部門の環境実績報告により、目的・目標に対する実施・進捗状況を確認します。また、EMSの維持管理と各部門への伝達などを行います。

③内部環境監査の実施

年に2回、内部環境監査員による各部門の監査を実施します。定例内部環境監査委員会を6月末に実施し、定期審査と前期の内部環境監査結果の伝達などを行います。

④マネジメントレビューの実施

環境管理責任者は年1回、4月に定期レビューを行い、「マネジメントレビュー記録」と「環境マネジメント実施状況報告書」を作成してトップマネジメントに報告します。

ISO14001認証取得状況

拠点名	認証年月
● 日東工器本社	2004年 5月
● 栃木日東工器	2001年 11月
● NITTO KOHKI COUPLING (THAILAND)	2009年 8月
● NITTO KOHKI (THAILAND)	2009年 8月
● メドテック	2010年 3月
● 白河日東工器	2011年 2月

環境教育の実施

環境保全に対する認識を深め、環境マネジメントシステムを有効に機能させるためにさまざまな環境教育を実施しています。社内では広く従業員を対象とした一般教育、環境関連資格者のための専門教育、内部環境監査員のためのレベルアップ教育、各部門内での業務内容に合わせた部内教育を実施しています。また、お取引先には、当社の環境に対する取り組みをより理解していただくための説明会を開催しています。

タイ国NKTとNKCTからJAMP AIS セミナー参加

経済産業省の委託により日本貿易振興機構 (JETRO) が、東南アジアなどの貿易投資関連制度の構築支援の一環として、タイ国およびマレーシア両国で「製品含有化学物質管理推進体制構築支援」を目的とした JAMP AIS^{*} セミナーを2011年1月に開催しました。日東工器からは、タイ国のグループ会社NKT (Mr. Nanthaphong)、NKCT (Ms. Weena) の2社が参加し理解を深

めました。JAMP AISは、日東工器が進めているNKGPS (Nitto Kohki Green Procurement System) と同じ情報伝達を標準様式としており、タイ国内で普及が進めばグローバルな化学物質管理体制が期待できます。

※JAMP (アーティクルマネジメント推進協議会)：グリーン調達における化学物質情報の指示・伝達の共有化を推進している民間団体。
JAMP AIS：アーティクルマネジメント推進協議会の提唱するアーティクル (製品、部品) が含有する化学物質情報を開示・伝達するための標準化された情報記載シート。

環境に関する規制の遵守状況

2010年度は、環境に関する法律違反・指導はありませんでした。法令に基づいた定期的な測定や環境保全に関わる設備の維持管理を行い、環境汚染の防止に努めています。

グリーン調達説明会を実施

コンプライアンス室は、日東工器グループのお取引先を対象にしたグリーン調達説明会を7月6日から8日までの3日間、山形、宇都宮および東京で実施し、合計339社が参加しました。



今回の説明会は、日本の「化審法」^{*}改正やEUの「REACH規則」(P14参照) 施行による化学物質規制の強化に対応した、日東工器グループの改訂版「グリーン調達ガイドライン」について、お取引先に周知徹底してもらうために開催したものです。併せて「最新化学物質規制情報と業界動向について」の解説も行いました。

改訂版「グリーン調達ガイドライン」は、「本文」、「付属書A：環境管理物質の調査」および「付属書B：REACH規則に関する調査」の3つに分冊し、化学物質規制の改正に容易に対応できるようにしています。また現在、日東工器のホームページを通じて「グリーン調達ガイドライン」やグリーン調達に関連する情報をお取引先に公開しています。こうした取り組みによって、今後ますます強化が予想される化学物質規制に対して速やかに対応できると考えています。

※化審法：化学物質の審査および製造等の規制に関する法律



環境方針に則り、経営の一環として環境保全に取り組みます。

日東工器株式会社



Input インプット

エネルギー	購入電力	2,147.0千kWh	ガソリン	38.1kℓ
	鉄	71.9t	ステンレス	2.9t
原材料	アルミ	0.7t	その他金属	0.1t
	ダンボール	0.5t	紙	0.4t
	OA用紙	13.3t		
	水			
水	上水	3.5千㎡	雨水	2.2千㎡

栃木日東工器株式会社



Input インプット

エネルギー	購入電力	2,874.6千kWh	ガソリン	2.5kℓ
	灯油	194.9kℓ	LPガス	0.9千㎡
原材料	鉄	790.6t	ステンレス	105.5t
	アルミ	64.1t	その他金属	0.5t
	ダンボール	62.1t	紙	3.3t
	OA用紙	1.5t	化学薬品	0.0t
水	上水	1.8千㎡		

白河日東工器株式会社



Input インプット

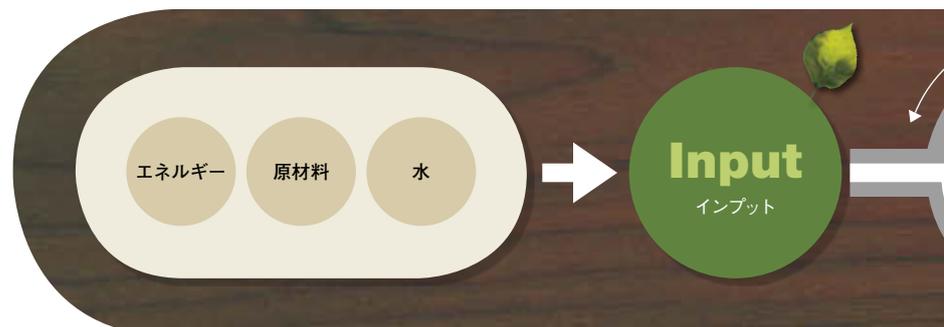
エネルギー	購入電力	1,433.8千kWh	ガソリン	0.9kℓ
	灯油	1.6kℓ	LPガス	0.0千㎡
原材料	鉄	368.2t	ステンレス	8.4t
	アルミ	16.3t	その他金属	2.5t
	ダンボール	43.9t	紙	3.4t
	OA用紙	3.0t	化学薬品	0.0t
水	上水	2.2千㎡		

株式会社メドテック

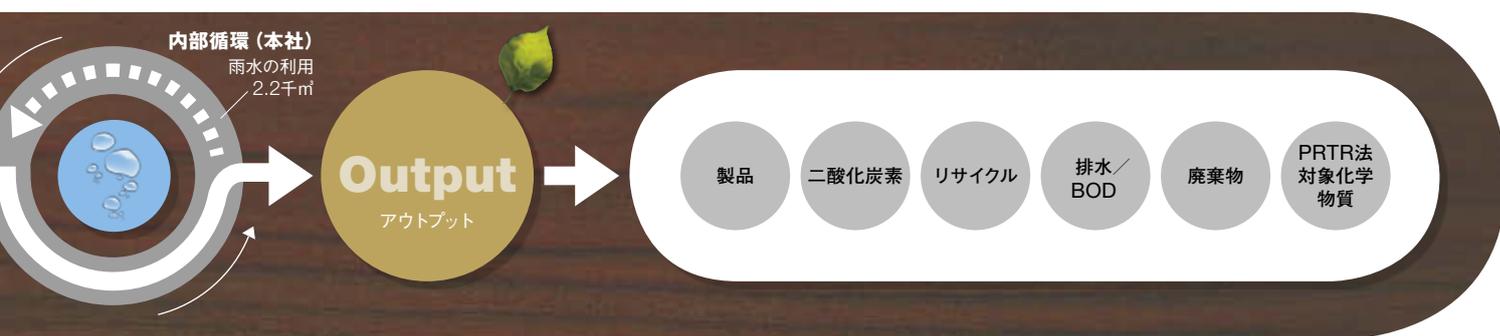
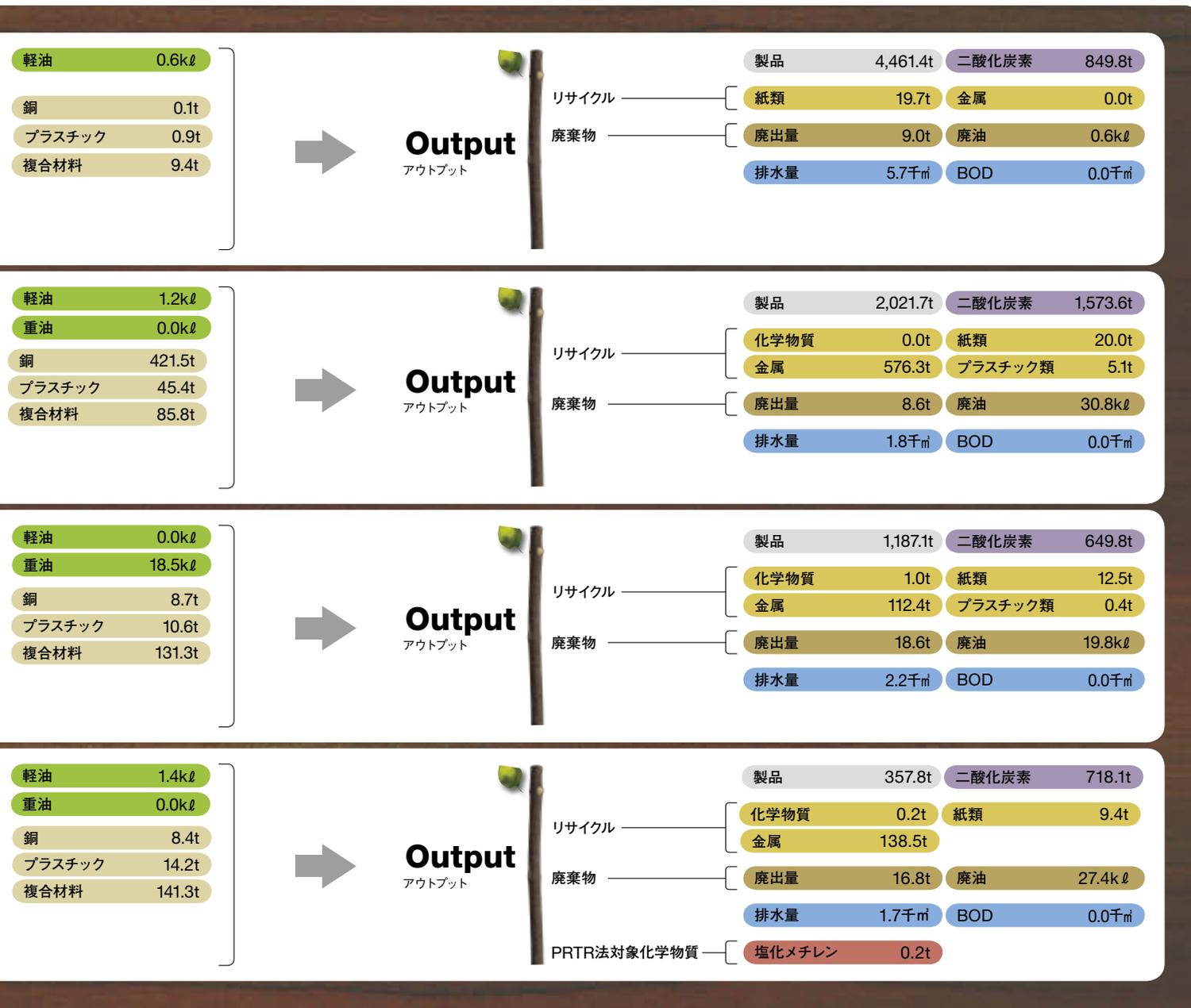


Input インプット

エネルギー	購入電力	1,458.0千kWh	ガソリン	1.3kℓ
	灯油	35.8kℓ	LPガス	1.7千㎡
原材料	鉄	166.3t	ステンレス	0.8t
	アルミ	27.5t	その他金属	0.4t
	ダンボール	21.1t	紙	4.3t
	OA用紙	0.9t	化学薬品	2.5t
水	上水	1.7千㎡		



日東工器の国内拠点において、2010年度に投入したエネルギー量・水資源量・原材料その他購入品の量と、排出した環境負荷量・廃棄物量・リサイクル量および製品として出荷した量は以下のとおりです。





省エネ・省資源に努め、 CO₂の排出を 削減していきます。

日東工器は、環境方針に則って目標を定め、地球環境温暖化防止のため省エネ・省資源への取り組みを推進しています。

地球温暖化防止に向けた目標

日東工器は、国の温室効果ガス排出量を2020年までに1990年比25%削減する目標が設定された、環境省主導の地球温暖化防止のための国民的運動「チャレンジ25キャンペーン」に参加し、CO₂削減に向けた活動を展開しています。日々の営業活動に使用している自動車については2006年より、買い替え時にハイブリッド車への切り替えを実施し、2009年までの4年間で18台を切り替えました。日東工器で使用している車はバンタイプが多く、今後更新時には、バン仕様のハイブリッド車や低燃費車を積極的に採用する予定です。

2008年度から2009年度にかけての本社社屋建て替え工事の実施や、これに伴うグループ会社の編入によるフロア面積と人員の増加により、2010年度CO₂排出量の実績は849.8tで、削減率は2004年度比で1.0%増となっていますが、2011年度は少しでも削減するよう努力しています(図1参照)。

なお、その他の温室効果ガスについては、排出量が微少なため、今回の報告事項からは除いています。

エネルギー起源CO₂の削減

エネルギー起源CO₂の2010年度排出量は、820.0tでした。前述の通り、本社社屋建て替え工事の実施や、これに伴うグループ会社の編入によるフロア面積と人員の増加により、2004年度比10.0%の増加となっています。特に、電力使用量2,147kWhによるCO₂の2010年度排出量は、730.0tでした。やはり2004年度比14.8%の増加となっています(図2参照)。

今後は2010年度をベースに削減を図っていきます。

改正省エネ法への対応

2010年4月に施行された改正省エネ法^{*}では、エネルギー年間使用量が原油換算で1,500kℓ以上の企業が、国への届出を行い「特定事業者」の指定を受け、企業単位でエネルギー管理統括者とエネルギー管理企画推進者を1名ずつ選任し、定期報告書・中長期計画書の提出をすることが義務付けられます。日東工器本社の年間使用量は586kℓであり、特定事業者とは見なされませんが、省エネを企業経営の重要課題と位置づけ今後も取り組みを充実させていきます。

^{*}改正省エネ法：エネルギーの使用の合理化に関する法律

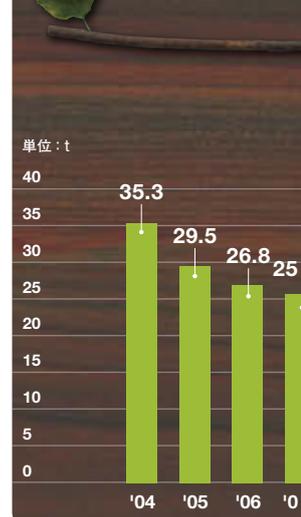
図1 CO₂排出量の推移(日東工器本社)



図2 電力使用量の推移(日東工器本社)



図3 廃棄物量の推移





資源を最大限有効活用し、地球とユーザーに貢献します。

資源を最大限有効活用することは、メーカーとして最も大切な精神の一つです。日東工器は、リデュース、リユース、リサイクルの推進を通して、コスト削減と環境保全を両立し、地球とユーザーに配慮したモノづくりを推進していきます。

廃棄物削減の方針および状況

資源を最大限有効活用すべく、リデュース、リユース、リサイクルを推進し、ごみゼロを目指して活動しています。順調に削減効果は出ており、2010年度の廃棄物量は9.0tと、前年度比12.6%、2004年度比74.5%の削減となりました(図3参照)。従来ごみとして廃棄していたものを、リデュース、リユース、リサイクルに徹して廃棄物の削減に努めてきた成果が現れたと理解し、今後も引き続きごみゼロを目指して活動していきます。

リサイクル・回収の取り組み

過去においては、リサイクルに対する意識が低く、不必要となったものはすべて廃棄していましたが、8年前からリサイクル・回収活動・環境に関する教育を開始しました。特に、活動当初は紙類のリサイクルについての効果が大きく、2008年度のリサイクル量は、2004年度比69.7%の増加となり、環境負荷軽減に貢献できました。

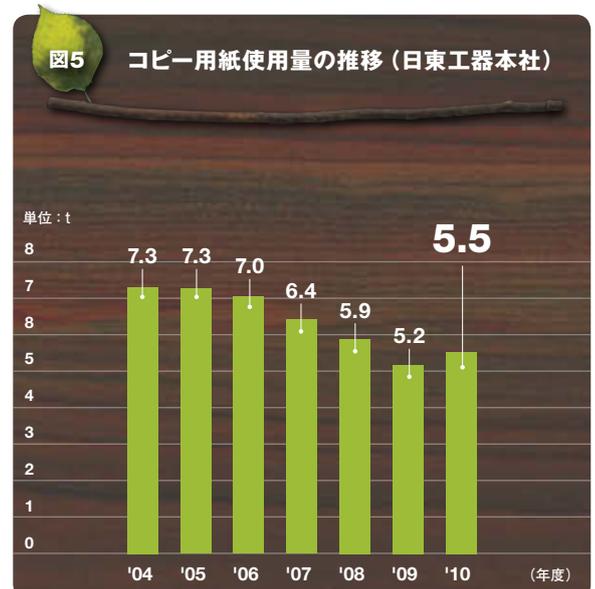
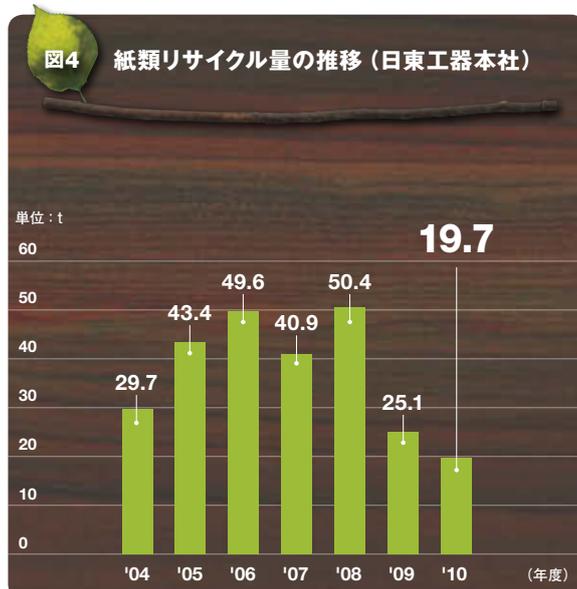
なお、2009年度からは資料、本、雑誌類の整理が一段落したことも影響し、リサイクル量は減少しています(図4参照)。

今後も分別を徹底し、リサイクルを推進していきます。

コピー用紙使用量の削減

各種資料のコピーは、特別な対応をせずに行っていましたが、使用済みコピー用紙の裏面使用、両面コピー、すべての資料をコピーせずに説明に必要なページだけをコピーすることやプロジェクターの使用による会議資料の削減や、資料の積極的な電子化を図ることにより、2010年度のコピー用紙使用量は、2004年度比24.7%の削減ができました(図5参照)。2009年度比で増加した0.3tは、グループ会社編入に伴うものです。

また、会議資料の削減と資料の電子化を図ることにより、資料保管のためのファイルと棚の大幅な削減と、フロアの有効活用も促進できました。今後も引き続き、各部門で保管している各種資料の電子化を図っていきます。





安全・品質・環境に配慮し、 より効果的な取り組みを 目指します。

メーカーである日東工器にとって、生産現場での環境の取り組みは非常に重要です。多岐にわたる製品を生み出すそれぞれの生産拠点でどのような取り組みが行われているのか、国内の主要な生産拠点を例にとって、説明します。

白河日東工器株式会社

ISO14001取得。より一層の環境への配慮を

白河日東工器は2003年からC-TPM[※]を開始し、2005年には日本で初めてC-TPMから「TPMチャレンジ賞」を受賞するなど活発な生産保全活動を展開し、事業計画目標達成のツールとして活用しています。12年の実績を持つISO9001も、目標展開をC-TPMと融合させて活動しています。今回のISO14001認証取得も、C-TPMと融合した環境管理システムの構築を目指しました。

ISO14001認証取得ですが、2010年5月に開始し、2011年1月に本審査を受ける計画でスタートしました。しかし、ISO14001規格翻訳版の解釈に困惑し、要求事項の展開方法の具体化が思うように進まず、焦りの募る日が続きました。しかし、「環境マニュアル」を発行し基準書類の作成と同時に逐次運用を開始し、遅れを取り戻すことができました。12月の予備審査を経て、当初の計画通りに本審査に臨み、2011年2月18日に認証を取得しました。まだ認証取得段階であり、これからが環境管理のスタートであることを認識し、システムの改善と環境管理に取り組んでいきます。



取得プロジェクトスタッフの声



本審査後、総評の中で700社以上の審査経験を持つ超ベテラン審査員から「さすがは日東工器グループ会社。システムも対応もしっかりしている。登録審査としては珍しく疲れない審査であった」と、お褒めの言葉を頂いたときは、努力が報われた思いがしました。

※C-TPM：社団法人日本プラントメンテナンス協会の提唱する全員参加の生産保全活動(Total Productive Maintenance)で、C-は、中小規模の企業向けのコンパクトな改善プログラムです。

eco トピックス

環境配慮の 設備投資

白河日東工器株式会社

新規CNC旋盤導入により加工サイクルタイムの半減と二次加工を70%削減し、電力使用量を大幅に削減しています。また、引戸充填機を改良した結果、生産高は従来比の約2倍になり電力削減に貢献。さらに、充填オイル交換を行う際、オイル漏れ対策としてゼロスピルカブラを採用し環境に配慮しました。

新規CNC旋盤の導入



旧設備



2011年5月導入設備

引戸充填機の改良



従来型
充填機(1個取)



改良型充填機(2個取)

ゼロスピルカブラの採用



従来型



油漏れ対策型



白河日東工器株式会社



栃木日東工器株式会社



株式会社メドテック

拠点概要

白河日東工器株式会社

- 事業内容：電動ドライバ、建築機器、ドアクローザの製造
- 従業員数：73人

栃木日東工器株式会社

- 事業内容：迅速流体継手（カブラ）、リニア駆動ポンプの製造
- 従業員数：160人

株式会社メドテック

- 事業内容：空気・油圧・電動式の各種省力化機械ツールの製造
- 従業員数：84人

栃木日東工器株式会社

栃木日東工器は、ISO 9001、ISO 14001 認証を取得し、品質・環境への活動とPI活動^{※1}をシステムチックに運用しています。2010年度は、期初に環境目的・目標の認識をするため全部門への教育を行い、毎月の環境委員会で報告するとともに進捗状況を管理しました。また安全な環境の下で高品質な製品を製造するため、設備の危険箇所を洗い出し、事故発生を未然に防止しています。工場の騒音や冷暖房用ボイラーのばい煙を、法規制に従って定期的に測定し近隣へ配慮している他、廃棄予定のパレットをリユースするなど、一般的な紙・ごみ・電力の削減活動を含め環境負荷軽減に努めています。今後も、化審法、RoHS指令^{※2}、REACH規制^{※3}等の国内外の環境関連法規制を遵守し、グリーン調達を推進して、環境にやさしい理想的な工場を追求します。

※1 PI活動：Product Innovation (生産革新) 活動。
 ※2 RoHS指令：電子・電気機器における特定有害物質の使用制限についての欧州連合 (EU) による指令。
 ※3 REACH規制：欧州連合における人の健康や環境の保護のための欧州議会および欧州理事会規則。

株式会社メドテック

メドテックは、「省力化・省人化と作業環境の改善」というコンセプトのもと、鋼材の切削・研磨・剥離・穴あけ・面取りなど、さまざまな加工現場で使用されている空圧・電気・油圧を駆動源とした機械・工具を生産しています。「未来に残そうきれいな地球」をスローガンに、環境マネジメントシステムを推進、ISO14001 認証取得から1年が経過しました。



本来業務の中から具体的な目的・目標を定め、コンプレッサのエア配管漏れ箇所の改善、非稼働設備の主電源の遮断による待機電力の削減などエネルギー効率の向上に努めています。それと併行して、C-TPM活動による不良率の低減を図り、環境マネジメントシステムとの相乗効果により経費削減を実現しています。

海外グループ会社

生産拠点の代表的なマテリアルフロー (2010年1月～12月)

社名	電力消費量 (kWh)	OA用紙使用量 (t)	廃棄物量 (t)	水道使用量 (m ³)	CO ₂ 排出量 (t) (※1)
UNIVERSAL DRILLING & CUTTING EQUIPMENT LTD.	1,056,087	0.2	2.2	1,044	512.9
日東工器一美進株式会社	336,803	0.4	9	— (※2)	241.5
NITTO KOHKI (THAILAND) CO., LTD.	423,432	1.0	5	4,428	180.2
NITTO KOHKI COUPLING (THAILAND) CO., LTD.	1,186,304	0.8	10	6,294	309.9
NITTO KOHKI AUSTRALIA MFG. PTY., LTD.	285,192	0.3	1	— (※3)	100.0

(※1) 国内と同じ換算係数に基づき算出しています。
 (※2) 水道使用量に入らない地下水を利用しているため、データを取得していません。
 (※3) 定額契約につき使用量は未把握です。



緑の中の新本社・研究所で、 省エネとともに環境への 意識を育みます。

日東工器新社屋は、「緑の中の本社・研究所」をコンセプトに、さまざまな環境への配慮により、建築物総合環境性能評価システム (CASBEE) で、最上級の「S」ランク相当に評価されています。

大開口の窓ガラス、吹き抜けおよび 天窓からの自然採光を利用

本社・研究所のオフィスは、大開口の窓ガラスを使用しているため日中、窓際では照明なしで業務を行うことができます。また夜間は、オフィス内の照明の光が外部へ漏れ、近隣の住宅に過度な光が差し込まないように外部ルーバー（電動外部ブラインド）を利用し遮光しています。



大開口の窓ガラス



外部ルーバー

本社の樹木の生育

本社の緑地面積は、地上・屋上17.6%、接道部82%で、カツラやモミジなど高木88本、ツツジやサツキなどの低木3,856本を植えています。植樹は4階、5階にも広がり、各階から地上や上階庭園の緑を目にすることができます。春はツツジ、サツキ、夏はサルスベリ、みかん、秋はキンモクセイ、モミジ、冬はサザンカ、ツバキなど四季折々の花が観賞できます。4階ラウンジのシラカシも植樹から1年経ち、大きく成長しています。



上階の庭園 (2010年)



上階の庭園 (2011年)

植栽を施した接導部にごみ集積場および隅切りを設置

接導部全周に植栽を施しました。また、近隣の方々に利用していただけるよう、植栽の一部にごみ集積場を設置しました。植栽の施してある角地には、車の運転者の視界を確保するため隅切りし、カーブミラーを設置しました。



ごみ集積場



隅切りし、カーブミラーを設置

雨水をトイレの洗浄に使用



社屋の給水システムは、雨水を地下の貯水槽に溜めて、トイレの排水として利用しています。その効果もあり、2008年度と比べると本社の水道使用量はおよそ4割削減できています（右図）。

雨水利用による水道使用量の削減（日東工器本社）





独自の技術と設計で皆様の環境保全に貢献します。

「開発は企業の保険なり」を社是とする日東工器は、研究・開発面で大いに環境に貢献したいと考えています。環境に配慮した設計として DfE (Design for Environment) 評価のクリアはもちろん、独自の技術開発でさまざまな環境保全の取り組みを支えています。

環境配慮設計

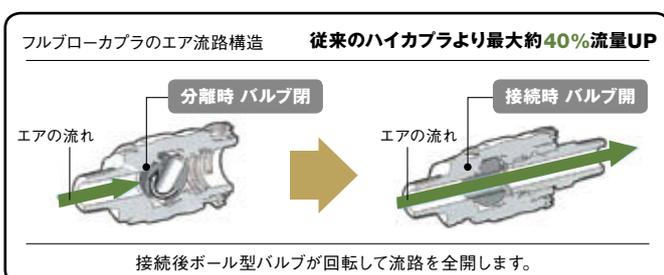
環境保全の重要性を認識し、持続可能な社会の実現に向けて、環境に配慮した設計に取り組んでいます。

新製品はDfEを採り入れ、製造、使用、廃棄の製品ライフサイクルを通じて、省エネルギー・省資源・再資源化・環境管理物質についての自主基準を設け、より環境負荷の小さい製品の開発を目指しています。2004年度から順次DfEを導入し、2008年度以降はすべてこの基準をクリアした新製品となっています。2010年度までにDfEが反映された開発件数は累計で118件となっています。



環境配慮製品の提案

日東工器では、ユーザーとメーカーを結ぶ情報誌およびWeb版の「カブラの友」により、省エネ製品や環境関連の情報をお客様に提供しています。環境配慮製品の中でも「フルフローカブラ」は、製造業の責務となっている「工場の省エネ」に貢献しています。工場で使う総電力量の3割以上を占めることも珍しくない「エアコンプレッサ」 「フルフローカブラ」は、重要なエネルギー源であると同時に、ランニングコストの高いコンプレッサの低コスト・高効率化を実現します。



eco トピックス

セミコンカブラ SCAL型



特長

- 離脱時の液だれを最小限に抑え、薬液の無駄をなくす。
- プラグ先端の段により流体の滴下を防止。
- 拭き取りが容易で、作業環境の悪化を防ぐ。

現在の便利な生活は、家電製品などの身近なものから航空宇宙にいたるまで幅広い技術によってもたらされています。それらには半導体がかかせません。

その半導体の製造装置にカブラは使用されています。半導体の製造プロセスで使用される薬液は、高価なものから危険を伴うものまでさまざまです。カブラ離脱時の液だれは、そうした流体の無駄や環境汚染につながります。これらの問題を解決したのが「セミコンカブラSCAL型」です。

特長は、独自の液だれ低減構造により、離脱時の液だれを最小限に抑え薬液の無駄をなくしたことです。また、プラグ先端の段により流体の滴下を防止している他、拭き取りも容易で、作業環境の悪化も防ぎます。接液部に金属部品がないのがもう一つの特長で、各種高純度薬液にも柔軟に対応できます。これら環境に配慮した技術で、セミコンカブラは社会へ貢献しているのです。



社会や地域と良好な コミュニケーションを 築きます。

日東工器グループは社会や地域の皆様とともに成長する企業でありたいと考えています。事業活動や付随する活動で地域や社会に貢献し、皆様に信頼され、良好な関係を築いていくために、さまざまな活動を行っています。環境報告書の終わりにあたって、そのような活動の一端を紹介します。



「エコフェスタ・ワンダーランド」へ参加

子どもたちとの交流を通じ 環境への意識づけを

「エコフェスタ・ワンダーランド」は、大田区と環境問題に取り組む企業、学校、ボランティア団体などが協働で、毎年地域の小学校を開催場所として、子どもたちとの交流を通じて環境への意識づけを行う環境イベントです。

2010年度の出展団体は34団体。日東工器は「白河の森の贈りもの」をキャッチフレーズに白河日東工器の森で集めた松ぼっくりやドングリなどの木の実とアケビのツルを利用したリース（飾り）づくりと、当社の環境配慮製品の展示およびデモ機の操作体験をテーマとしました。スタッフとして、社内ボランティアと児童スタッフ2人の応援を得て臨みました。参加者のほとんどは小学生、中には保護者同伴の幼児も。リース作りの希望者は予想をはるかに超え、盛況のうちに閉会を迎えました。



松ぼっくりなどは
白河日東工器の
裏山から採ったものを
使用しています。



参加者の声

継続的な取り組みに
つながっていきたい

コンプライアンス室のメンバーと児童スタッフ

出来上がったリースを大切に持ち帰る姿、デモ機の体験では不思議そうに動きを観察する様子や積極的に操作をする子どもたちが印象的でした。子どもたちに楽しい思い出作りと環境への意識づけのため、継続的な取り組みにつながっていきたいと思っています。

日東工器株式会社

多摩川河川敷美化 清掃活動への参加



社会貢献の一環として、大田区主催の多摩川河川敷美化清掃活動に毎年参加しています。5回目の参加となる2010年度は社員とその家族多数が参加しました。河川敷では、近年パーベキュー利用が有料化されるなどゴミ問題が表面化しており、当社としても市民の皆様にも気持ち良く河川敷を使っただけのよう、これからも清掃活動を継続していきます。

日東工器株式会社

本社周辺道路の 清掃活動



地域の環境保全活動の一環として始めた社屋周辺の清掃活動も2010年で3年目。当初は1部門の限られたメンバーでしたが、今では3部門のメンバーが交替で、毎月3回定期的に行っています。年々ゴミの量も減少、周辺道路の美化活動を通じて地域住民の方々とのより良い関係を築いていきます。

日東工器株式会社

エコキャップ回収が 14万個を超える



日東工器グループで行っているエコキャップ（ペットボトルキャップ）回収運動で、これまでに141,280個を回収しました。この運動は、2008年からはじめ、今では国内グループ全体に活動の輪が広がり、集めたキャップは社外ボランティアを通じて換金され、ポリオワクチンとして寄付、累計でワクチン176人分に相当します。地道な活動ですが今後も継続していきます。

日東工器株式会社

Myカップ推進運動



新社屋移転と同時に始まった「Myカップ推進運動」。今ではほとんどの社員が自分のカップを使用して、飲料自動販売機の紙コップの使用抑制に努めています。また、来客用のカップも用意しています。「身近なことから環境改善 小さな一歩で大きな効果」。(社内で募集した標語です)

栃木日東工器株式会社

鬼怒川・小貝川 クリーン大作戦



20回目となる「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」が2010年も開催されました。栃木日東工器は地域環境活動の一環として3回目の参加となり、早朝7時からにもかかわらず従業員とその家族多数の参加となりました。例年のない猛暑の中、約2時間一生懸命に河川敷のゴミを拾うことに専念し汗を流しました。

株式会社メドテック

地域清掃などの コミュニケーション



地域コミュニケーションの一環として行っている工場隣接道路の美化清掃および近隣公園の清掃を継続しています。また、自治会の資源回収に参加し、再資源化にも協力しています。これからも地域とのふれあいを大切に、より良い関係を続けていきます。

- 本社 〒146-8555 東京都大田区仲池上二丁目9番4号
- TEL 03-3755-1111(代)
- URL <http://www.nitto-kohki.co.jp>

